

妙安寺だより 334

テレフォン法話 092-751-6084 (毎週月曜日に話が変わります)

横須賀紀行 2

猿島行きの棧橋より歩いてすぐに戦艦「三笠」の記念艦があります。

「記念艦「三笠」の由来」 (パンフレットより)

戦艦「三笠」は、明治35年(1902)にイギリスのヴィッカーズ造船所で建造日露戦争(1904)における日本海海戦では、バルト海から増派されたロシアのバルチック艦隊を対馬沖で迎え撃ち、東郷平八郎司令長官が座乗する連合艦隊の旗艦として圧倒的な勝利を収めた。

大正12年(1923)に廃艦することに決まりましたが、ワシントン軍縮会



議において記念艦とすることが認められ、に保存。昭和20年(1945)太平洋戦争に敗突など上部の構造物が撤去されましたが、うとして寄附金・政府の予算・アメリカ海軍(1961)の旧日本海海戦記念日に復元される「コンスティテューション」ともに世界の三大記念艦といわれています。

お粉割られして現役を、日本海海戦により
 廃在此一戦各員一層奮励努力 (皇国の興廢
 励努力せ
 は、有名な文



改修工事を行なわれ現在の地れ、艦橋・マスト・大砲・煙昭和30年(1955)元の姿に戻そ軍などの支援により、昭和36れ、イギリスの「ヴィクトシヨ
 ます。

勝利を収めました。「皇国興この一戦にあり 各員一層奮よ)」の信号(Z旗)句です。

記念艦には、東郷平八郎司令長官が連合艦隊を指揮した最上甲板に立つことができます。この甲板から下りる階段が狭く、途中ですべり「大丈夫ですか？」と声をかけられ、「大丈夫ですよ」と言った途端、再度滑り落ちてしまいました。おかげで2、3日尾てい骨が痛い日を過ごしました。
教訓「狭い階段を下りる時は後ろ向きに下りましょう」

写真説明 上・猿島より見た富士山。 中・記念艦、戦艦「三笠」
 下・東郷平八郎と戦艦「三笠」

